

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |        |           |
|----------------|--------------|--------|-----------|
| ○事業所名          | スマイル保育所等訪問支援 |        |           |
| ○保護者評価実施期間     | 令和7年6月1日     | ～      | 令和7年7月31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数) 5     | (回答者数) | 5         |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年8月1日     | ～      | 令和7年8月31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数) 6     | (回答者数) | 6         |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和7年6月1日     | ～      | 令和7年7月31日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象者数) 6     | (回答者数) | 5         |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年8月31日    |        |           |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                     | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 肢体不自由、医療的ケア、発達障害のあるお子さまへの経験豊富な訪問支援員が多く、専門性を活かして日々の活動・環境設定等に携わっている。             | お子さまのニーズや、個々の支援内容に合わせながら、訪問先施設や保護者と相談しながら支援を提供している。              | 訪問支援員の知識をさらに深めるために、訪問支援員が個々で専門書を読んだり、外部研修等を積極的に参加している。                        |
| 2 | 理学療法士・作業療法士・保育士が在職している。各専門分野の視点から多角的な見解を行うことにより、計画・支援実行・評価・改善をしながら適切な支援に繋げている。 | 専門分野の中で、お子さまにとって何が必要であるか、多職種の面から見て専門職員と随時話し合いを行いながら色々な意見を交わしている。 | 今後も引き続きPDCAサイクルを意識し、計画の見直しを行いながら、お子さま、ご家族様、施設様と共通理解を図り、より良い支援提供ができるよう取り組んでいく。 |
| 3 |  |  |   |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|---|---|
| 1 | 保護者、施設様のアンケート評価の回収率は良かったが、コメント欄の記載が少なかった。  | 保育所等訪問支援の質の向上に向けて、お子さま、保護者様、施設様等の思いや意見を反映させていきたい。 | お子さまが健やかに安全に安心して、園や学校での集団生活を送れるように、情報共有、共通理解を図り連携を継続していく。                               |
| 2 | 保護者から「わからない」「どちらともいえない」との回答があった。           | わかりやすく、印象的に伝えることができていなかったと思われる。                   | 必要な情報がいつでも検索すれば、閲覧できるように見られるように保護者さまに伝えていく。今回の保護者や訪問先施設からのアンケート結果を踏まえ、改善点を訪問支援員と検討していく。 |
| 3 |  |   |   |